

団体情報	
団体番号	22
団体名	バドミントン部
所属人数（前年度）	20人

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。
		仲間とともに切磋琢磨し、バドミントンを通して、社会性を身につけるとともに、心技体を鍛えることを目的に活動する
活動報告	活動内容	Ⅰ. 前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 第二体育館にて全体で週4日、自主練として週2日の練習時間を設け、限られたコート数と時間の中で効率的な技術・体力向上を図っている。月・火・土はフットワーク、ノック練習、パターン練習を中心にトレーニングも適宜行う。金は試合形式での練習を中心に、OB等の外部の方も練習に参加されることもあるため、実践的な指導を受ける機会を設けている。長期休みには走り込みを導入し、基礎体力の強化を徹底した。 課題として、部員個々の実力差やモチベーションの維持がある。そこで幹部が一方的にメニューを決めるのではなく、「部員の意見と各自の課題を反映したメニュー作り」を導入している。自主練の時間は各自の課題解決の場として機能させ、全員が主体的に練習に挑める環境へと試行錯誤を重ねた。この結果、個人の得意分野を伸ばしつつ、チーム全体の向上心と一体感を高めて結果を出すプロセスを構築した。 ②社会や地域貢献活動 地域社会及び次世代の育成への貢献として、地域のジュニアクラブの練習に参加や、高等学校との練習試合を通じた年下の選手たちとの積極的な交流を行っている。大学生として高い技術やスポーツマンシップを伝えるだけでなく、自分たち自身も次世代のエースたちと同じ目線から練習に向き合うことができ、地域のバドミントン競技の競技力向上に貢献している。 また、主に松江市、出雲市で開催される県内大会において、審判などの大会運営のサポートを継続的にを行っている。これらの活動は大会の円滑な運営に不可欠な役割を果たしており、競技連盟からも「学生のサポートがあり大変助かっている」と高い評価をいただいている。多様な利害関係者と関わることで、地域スポーツの活性化を支える存在として機能している。 ③その他アピールできること 数値には表れない成果として、部員の「主体性」と「社会性」の成長が挙げられる。全員で練習を組み立てることで協調性と責任感が養われた。また学外の方との練習や審判活動などを通して、コミュニケーション能力が身に付き、社会を支える人間として大きく成長している。

		II. 活動実績（大会、コンクールなどの実績を記入してください。） ・2025.6 中四国学生バドミントン選手権大会 男子団体B 4位/男子複4位 ・2025.8 中国学生バドミントン選手権大会 混合複準優勝/男子複A級3位 ・2025.9 中国五大学学生競技大会 女子複 準優勝 ・2025.10 全日本学生バドミントン選手権大会 混合複 出場 ・2025.11 中国四国九州学生バドミントン選手権大会 男子団体B級ベスト8
--	--	---

			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金		
		入部(会)金	¥11,000	1,000円／人（年額）
		部(会)費	¥279,000	18,000／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）		
		活動・イベント収入		
		寄付金		
		スポンサー収入		
		その他	¥125,000	
		収入合計	¥415,000	
	支出	備品等購入費	¥432,460	
		施設等利用料		
		大会等参加費	¥22,190	
		広報活動費		
		交際費		
		交通費		
		その他	¥9,700	
		支出合計	¥464,350	
	差引収支		(¥49,350)	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望 事項※	大学に対する支援や要望	
	学外の団体等への要望	

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。